

2014 年度公益社団法人日本図書館協会事業報告

はじめに

日本図書館協会（以下「日図協」）は、2014 年 1 月 21 日に公益社団法人として再出発し、2014 年度は公益社団法人として 2 期目であった。すべての事業について、公益法人として社会貢献を一層強力に進めるにふさわしいあり方について点検し、必要に応じて積極的に事業の見直しを行った。また全国図書館大会は 1906 年に東京で第 1 回大会を開催して以来、関東大震災や第 2 次世界大戦による中断はあったが、2014 年に第 100 回目の節目を迎えた。折しも新しい公益法人としての姿を示す機会となった。

また、国の図書館振興にかかわる動向に関して、学校図書館法の改正や障害者差別解消法の施行にむけての条件整備、ひと・まち・しごと創生法への対応等がもとめられた。そしてまた、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の普及や、指定管理者制度の実態把握に引き続き取り組んできた。

また、2014 年度は 2013 から 2015 年度にかけての中期財政再建計画（改訂）の途上であり、その着実な推進の一方、部会・委員会活動その他日図協の活動全般にわたって財政面で相当の制約があるなかで、会員や関係者の努力と協力により、以下の活動を展開し、成果をあげてきた。その結果について報告する。

I. 公益目的事業

部会・委員会を中心に事業を実施した。部会活動の概要は〔資料 1〕の通り。

1. 講座・セミナー・育成

(1) 第 100 回全国図書館大会東京大会の開催

テーマ：図書館文化を明日の力に

2014 年 10 月 31 日、11 月 1 日 明治大学駿河台キャンパス 参加者：2040 名

- ・記念フォーラム：言葉を育てる・社会をつなげる・未来を創る
- ・部会・委員会が担当した分科会

	分野別	テーマ	担当	参加者
1	公共図書館（全体会）	本の力図書館の力	図書館政策企画委員会	138
2	公共図書館（分散会 1）	望ましい基準をどう生かすか	同上	52
3	公共図書館（分散会 2）	読書と図書館・書店	同上	38
4	公共図書館（分散会 3）	市民とつくる図書館	同上	52
5	大学図書館	大学の知の発信システムの構築	大学図書館部 会有志	75

6	短大・高専図書館	図書館の現場力を高める	短期大学・高等専門学校図書館部会	45
7	学校図書館（1）	これからの学校図書館と学校図書館専門職員	図書館情報学教育部会・学校図書館部会	141
8	学校図書館（2）	学校司書の法制化を考える	学校図書館部会	109
9	専門図書館	世界の窓となるライブラリー in Japan	専門図書館部会	50
10	図書館情報学教育	世界の図書館情報学教育	図書館情報学教育部会	122
11	児童青少年サービス	読書が培う子どもの未来	児童青少年サービス委員会	140
12	障害者サービス（1）	現行著作権法から分かる図書館の役割	著作権委員会・障害者サービス委員会	65
13	障害者サービス（2）	「障害者の権利に関する条約」の目指すもの	障害者サービス委員会	47
14	図書館の自由	「政府言論」論から考える図書館の自由	図書館の自由委員会	38
15	出版流通	電子書籍導入とデジタルアーカイブ化の展開	出版流通委員会	150
16	図書館を語る	図書館を語る	出版委員会	23
17	資料保存	知っておきたいカビ対策のイロハ	資料保存委員会	95
18	職員問題	非正規雇用職員の今とこれから	図書館政策企画委員会	55
19	多文化サービス	多様な文化を活かす図書館	多文化サービス委員会	36
20	認定司書	これからの図書館を支える認定司書のチカラ	認定司書事業委員会	16
21	健康情報	ちいさな図書館でもできる健康情報サービス	健康情報委員会	61
22	図書館と施設	明日の図書館その建築について考える	施設委員会	130

23	利用教育	図書館利用教育の実践力	図書館利用教育委員会	61
----	------	-------------	------------	----

(2) 研究集会等の開催

① 公共図書館全国研究集会（公共図書館部会）

＜サービス部門、総合・経営部門合同＞

テーマ：地域をはぐくむ図書館サービス～現在（いま）求められている図書館とは～
2014年10月9～10日 高崎市立中央図書館・総合保険センター 参加者：209名

② 大学図書館研究集会（大学図書館部会）

テーマ：大学図書館と研究支援－研究を知る3つのキーワードから－
2014年11月7日 パシフィコ横浜 参加者：207名

③ 第43回学校図書館夏季研究集会（学校図書館部会）

テーマ：学校図書館の今とこれから－学びと育ちの支援を軸に－
2014年8月8日～9日 さいたま市民会館大宮 参加者：82名

④ 図書館情報学教育部会2014年度第1回研究集会

テーマ：演習科目「情報サービス演習」の可能性
2014年6月12日 日本図書館協会研修室 参加者：33名

⑤ 図書館情報学教育部会2014年度第2回研究集会

テーマ：学校図書館職員養成のあり方を考える
2015年3月28日 日本図書館協会研修室 参加者：47名

⑥ 連続講座（図書館政策企画委員会）

「図書館行政の在り方と指定管理者制度」講師 山口源治郎氏 2014年4月12日
日本図書館協会研修室 参加者50名

「図書館改革と望ましい基準の活用」講師 座間直壯氏 2014年4月26日 日本
図書館協会研修室 参加者44名

(3) 第5期認定司書事業（認定司書事業委員会）

第5期認定司書16名を認定（2015.4.1）（延べ100名）

普及事業として認定司書ロゴマークデザインを公募し、バッジと名刺用シール作製

(4) 図書館職員の育成

① 中堅職員ステップアップ研修（研修事業委員会）

ステップアップ研修（1）2014年10月20日～11月19日（6日間）

日本図書館協会研修室 受講者：全科目40名、部分受講11名 修了者40名

ステップアップ研修（2）2014年6月16日～2015年1月28日（12日間）

日本図書館協会研修室 受講者：全科目10名 部分受講12名 終了者16名

② 図書館基礎講座（図書館政策企画委員会）

東北会場 2014年8月18日、11月17日 山形県立図書館 参加者延べ139名

神奈川会場 2014年12月1日、15日 ユニコムプラザさがみはら 参加者延べ135名

関西会場 2014年12月1日、15日 大阪市立図書館 参加者延べ125名

九州会場 2015年1月26日、2月9日 伊万里市民図書館 参加者延べ236名

- ③ 児童図書館員養成専門講座（児童青少年委員会）
第34回児童図書館員養成専門講座 前期2014年6月23日～28日 後期9月29日～10月8日 日本図書館協会研修室 修了者16名
- ④ 障害者サービス担当職員養成講座（障害者サービス委員会）
障害者サービス担当職員養成講座（基礎コース）2014年6月4日～6日（3日間）
日本図書館協会研修室 修了者20名
- ⑤ 障害者サービス担当職員向け講座（国立国会図書館と共催） 2014年11月17～18日 国立国会図書館関西館（京都） 修了者42名
- ⑥ 障害者サービス基礎講習会 テーマ：障害者サービスをイロハから学びませんか！
日本ライトハウス情報文化センター 2014年9月8日 参加者51名
- ⑦ 研修企画担当者セミナー（認定司書事業委員会・研修事業委員会）
テーマ：公立図書館を対象にした中堅司書研修プログラム開発セミナー－研修を企画するための研修－ 日本図書館協会研修室 2014年7月18日 参加者23名
- ⑧ 資料保存研修会・セミナー（資料保存委員会）
資料保存セミナー第1回 テーマ：図書資料の修理 2014年6月30日 日本図書館協会研修室 参加者23名
資料保存セミナー第2回 テーマ：自動書庫と資料保存 2014年12月5日 日本図書館協会研修室 参加者58名
資料保存セミナー第3回 テーマ：被災資料の復旧支援報告及び水損資料への対処方法 日本図書館協会研修室 2015年3月5日 参加者35名
- ⑨ ホーナーフェロシップ基金による交換海外研修（国際交流事業委員会）
米国アリゾナ州に研修生1名派遣 2014年11月10日～24日

2. 研究・資料収集

（1）図書館に関する調査研究及び成果の普及

- ① 指定管理者制度の導入状況調査（図書館政策企画委員会）
「図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について 2014年調査（報告）」
2014年8月25日
- ② 『障害者サービスと著作権法』（障害者サービス委員会・著作権委員会）
2013年度からの継続事業であり、2014年度に刊行した。
- ③ 児童図書館サービス全国調査（児童青少年委員会）
調査票作成を継続
- ④ 『児童図書館論－フランスの現場から』（改訂版）（児童青少年委員会）
2014年度は翻訳、改訂作業を継続。

- ⑤ 『図書館でそろえたい子どもの本・えほん』（追補版）（児童青少年委員会）
追補作業を継続。
 - ⑥ 『映像でみる戦後日本図書館の歩み』の制作（常任理事会）
「格子なき図書館」（1950）、「図書館とこどもたち」（1980）に解説を付し、近代図書館史資料として制作。全国図書館大会に合わせて刊行。
 - ⑦ 『『図書館年鑑』の在り方検討会』を設置し、今後の図書館年鑑の在り方について報告書「これからの『図書館年鑑』」がまとめられた。
 - ⑧ 図書選定事業（図書選定事業委員会）
『選定図書速報』第 2901 回～第 2944 回を発行。『選定図書総目録 65（2014 年版）』（CD-ROM 版）を刊行。
 - ⑨ 日本十進分類法（分類委員会）
『日本十進分類法（NDC）新訂 10 版』を刊行。「NDC・MRDF10」（DVD 版）及び Web 版を検討。「日本十進分類法の Linked Data 形式化に係る共同研究に関する覚書」を国立国会図書館との間で締結。
 - ⑩ 件名標目表（件名委員会）
『基本件名標目表（BSH）第 4 版』の追加標目の検討を継続。
 - ⑪ 目録規則（目録委員会）
『日本目録規則（NCR）1987 版』の改訂作業を、国立国会図書館と連携して継続。
 - ⑫ 多文化サービス実態調査（多文化サービス委員会）
調査項目の検討を継続。
 - ⑬ 『多文化サービス：実践編』（仮題）（多文化サービス委員会）
実践に即した解説書の出版企画、執筆を継続。
 - ⑭ 公共図書館における健康情報の実施状況の調査（健康情報委員会）
2013 年度に実施した調査の結果を、図書館雑誌及び全国図書館大会で報告。
- (2) 図書館関係資料室「図書館の図書館」の運営
図書館運営・サービスに関する資料を体系的に収集し、一般の利用に供している。
(図書約 25,000 冊、関係団体機関紙約 700 タイトル)
利用状況：来室者 152 人 貸出資料数 348 点 問合せ等 163 件

3. 図書館の振興

(1) 政策提言に関する事業

① 意見表明等

- ・学校図書館法の一部を改正する法律について（見解及び要望） 2014 年 7 月 4 日
- ・＜声明＞図書・雑誌・新聞への消費税軽減税率を求めます 2014 年 7 月 16 日
- ・障害者差別解消法に基づく基本方針（原案）に関する意見 2014 年 12 月 26 日
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地域住民生活等緊急支援のための交付金について（ご連絡） 2015 年 1 月 29 日
- ・図書館の更なる整備充実を！（統一地方選挙に際して） 2015 年 3 月 25 日

- ② 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の活用・普及（図書館政策企画委員会）
2013年度に作成した「活用の手引」を活用し、連続講座「図書館改革と望ましい基準の活用」や全国図書館大会分科会「望ましい基準をどう活かすか」等を通じて基準の普及を図った。
- ③ 学校図書館専門職員に関する論点整理及び提言（常任理事会、関係部会）
学校図書館職員問題検討会を設置し、幅広い観点から、学校図書館専門職員の現状と問題点の検討を行った。
- (2) 図書館設置及び運営等に関する相談・助言・支援
各地の図書館や団体等からの相談に応じるとともに、必要な講師の派遣又は紹介を行った。
- (3) 日本図書館協会建築賞
建築賞の選考・顕彰（施設委員会）
第30回建築賞として、明治大学創立130周年記念和泉図書館と立教大学池袋図書館を選考し、全国図書館大会（東京）で表彰した。
- (4) 図書館記念日・図書館振興の月ポスター頒布
- (5) 国際交流（国際交流事業委員会）
- ・IFLA リヨン大会への参加。8月16日～22日。
 - ・日仏図書館情報学会と日本図書館協会国際交流事業委員会の共催で「世界の図書館、フランスの図書館は今－IFLA リヨン大会報告セミナー」を開催。2014年10月4日 日仏会館 参加者34名
 - ・国際図書館連盟アジア・オセアニア地区常設委員会（IFLA/RSCAO）と共催で国際セミナー「災害からの復旧に果たす図書館の役割」を開催。2015年2月11日 日本図書館協会研修室 参加者57名
- (6) 被災地支援（東日本大震災対策委員会）
- ① 情報交換会
岩手、宮城、福島の3県立図書館担当者との情報交換会2回。被災地図書館等の支援を行っている団体等との情報交換会3回。
- ② 支援活動
- ・学校図書館への支援 東松島市の小中学校2校、石巻市の小中高等学校5校、南三陸町小学校1校。
 - ・気仙沼市気仙沼図書館の書庫内資料の整備支援。
 - ・(公財)一ツ橋総合財団からの寄付金300万円を岩手、宮城、福島の3県の図書館に配分。
 - ・ブータン在住の日本人から寄せられた寄付金(図書カード)を「浪江 in ライブラリーきぼう」へ寄贈。
- ③ 仲介活動
- ・日本レコード協会による音楽CDの寄贈。岩手、宮城、福島、県内の67図書館に各

50枚寄贈。

- ・東松島市図書館における写真整理支援を仲介。

④ その他

国際図書館連盟アジア・オセアニア地区委員会国際セミナーにおいて、「東日本大震災と図書館」と題して発表。2015年2月11日。

II. 収益目的事業

- ・日本図書館協会施設の貸与。

III. 管理運営活動

1. 会員の拡大

財政基盤の確立及び活動強化のために、入会キャンペーンを実施し、集会や事業の度毎に積極的な働きかけを行った。

2. 公正・透明な管理運営の推進

代議員総会、理事会、常任理事会において、それぞれ適切・公正・透明な運営体制を整えた。

3. 健全な財政基盤の確立

財務状況を常に確認し、プライマリーバランスに基づく財務運営を徹底した。

財政再建計画（改訂）（2013 - 2015）を確実に実行した。

財産の管理・運用について、理事の職務分担を徹底した。

財務状況の情報開示を推進した。

4. その他

映像事業に関して2010年12月および2011年3月に、退職金等に関して2014年11月に係争が発生し、現在3件の係争が継続中である。

[資料1]

部会活動報告

部会名	活動内容
公共図書館部会	・全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門） 2014年10月9～10日 高崎市立中央図書館・高崎市総合保険センター 参加者 209名 ・総会及び第1回幹事会 2014年6月13日 ・第2回幹事会 2015年2月19日
大学図書館部会	・大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）2014年11月7日 パシフィコ横浜 参加者 207名 ・部会委員会開催 第1回 2014年6月10日 第2回 2015年1月13日

短期大学・高等専門学校 図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会分科会「図書館の現場力を高める」 2014年11月1日 参加者45名 ・総会及び第1回幹事会 2014年5月30日 第2回幹事会 2014年9月26日 第3回幹事会 2015年3月11日
学校図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会分科会「これからの学校図書館と学校図書館 館専門職員」2014年11月1日 参加者141名 「学校司 書の法制化を考える」2014年11月1日 参加者109名 ・第43回夏季研究集会 2014年8月8～9日 さいたま市 民会館大宮 参加者82名 ・部会報発行 6月、12月、3月
専門図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会分科会「世界の窓となるライブラリーin Japan」2014年11月1日 参加者50名 ・会員への情報提供の充実 メーリングリストの整備 メル マガ「専門図書館協議会」の活用
図書館情報学教育部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会分科会「これからの学校図書館と学校図書館 館専門職員」2014年11月1日 参加者141名 「世界の図 書館情報学教育」2014年11月1日 参加者122名 ・研究集会 第1回「演習科目「情報サービス演習」の可能 性」2014年6月12日 参加者33名 第2回「学校図書 館職員養成のあり方を考える」2015年3月28日 参加者 47名 ・総会及び第1回幹事会 2014年6月12日 第2回幹事会 2014年11月1日 第3回 2015年3月28日 ・会報第106～109号の発行

[資料2] 会員現数 (2015年3月31日現在)

- ・個人会員：3746
- ・施設会員：2254 (公共:1215 大学:678 短大高専:172 学校:56 専門:108 その
他:25)
- ・団体会員：5
- ・賛助会員：54件 132口
- ・準会員：10

[資料3] 出版物一覧 (2014年4月～2015年3月31日)

<定期刊行物>

- ① 機関誌『図書館雑誌』月刊 B5 平均64p 7500部 933円 (5, 8, 12月:1238円)
(108巻4号～109巻3号)

- ② 『現代の図書館』季刊 B5 平均 64p 2700部 1300円 (52巻1～4号)
③ 『日本の参考図書・四季版』季刊 B5 平均 52p 2390部 600円 (No.191～194)
<単行書等>

●新刊 (17点)

- ① 実践型レファレンス・サービス入門 補訂版 (JLA 図書館実践シリーズ 1) 斎藤文男・藤村せつ子著 B6 203p 1500部 1800円 5月1日刊
② 図書館概論 三訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1) 塩見昇編著 B5 284p 1500部 1900円 5月10日刊
③ 図書館史の書き方・学び方 (JLA 図書館実践シリーズ 24) 奥泉和久著 B6 246p 1500部 1900円 6月20日刊
④ 図書館年鑑 2014 図書館年鑑編集委員会編 B5 794p 1900部 21000円 8月25日刊
⑤ 図書館多読への招待 (JLA 図書館実践シリーズ 25) 酒井邦秀・西澤一編著 B6 186p 1500部 1600円 8月30日刊
⑥ 選定図書総目録 2014年版 日本図書館協会編 CD-ROM 100部 20000円 8月31日刊
⑦ 障害者サービスと著作権法 (JLA 図書館実践シリーズ 26) 障害者サービス委員会・著作権委員会編 B6 131p 1500部 1600円 9月30日刊
⑧ 図書館のめざすもの 新版 竹内愨編・訳 A5 83p 1500部 800円 10月10日刊
⑨ みんなで考える こんなときどうするの? 図書館における危機安全管理マニュアル作成の手引き 図書館政策企画委員会同書編集チーム編 A5 244p 3000部 1500円 10月10日刊
⑩ 映像でみる戦後日本図書館のあゆみ 『格子なき図書館』と『図書館とこどもたち』 同書製作チーム編 B6変 DVD+冊子 (58p) 1700部 5000円 10月31日刊
⑪ 明日の図書館 その建築について考える 第36回図書館建築研修会(2014年度) A4 82p 200部 2000円 11月1日刊
⑫ 日本十進分類法 新訂10版 分類委員会編 B5 2冊 6000部 6500円 12月25日刊
⑬ レファレンスブックス 選びかた・使いかた 新訂版 長澤雅男・石黒祐子共著 A5 242p 3500部 1400円 1月30日刊
⑭ 日本の図書館 統計と名簿 2014 図書館調査事業委員会編 B5 511p 14000円 1月31日刊
⑮ 図書館概論 四訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1) 塩見昇編著 B5 284p 3000部 1900円 2月20日刊
⑯ 情報サービス演習 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 7) 齋藤泰則・大谷康晴共編著 B5 258p 3000部 1900円 3月25日刊

⑰ 図書館資料としてのマイクロフィルム入門 (JLA 図書館実践シリーズ 27) 小島浩之編
B6 180p 1500部 1700円 3月30日刊

●増刷 (13点)

① 図書館サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズII 3) 7刷 小田光宏編著
1500部 1800円 4月刊

② 図書館ハンドブック 第6版補訂版 4刷 図書館ハンドブック編集委員会編 500部
5500円 4月刊

③ 情報リテラシー教育の実践 すべての図書館で利用教育を (JLA 図書館実践シリーズ
14) 3刷 図書館利用教育委員会編 500部 1800円 6月刊

④ 図書館の設置及び運営上の望ましい基準 活用の手引き 2刷 図書館政策企画委員
会望ましい基準検討チーム編 500部 1000円 8月刊

⑤ 情報資源組織演習 (JLA 図書館情報学テキストシリーズIII 10) 2刷 和中幹雄ほか共
著 2000部 1900円 10月刊

⑥ 図書館情報資源概論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズIII 8) 3刷 馬場俊明編著
3000部 1900円 10月刊

⑦ みんなで考える こんなときどうするの? 図書館における危機安全管理マニュアル
作成の手引き 2刷 図書館政策企画委員会同書編集チーム編 1000部 1500円 1月刊

⑧ 明日の図書館 その建築について考える 第36回図書館建築研修会 (2014年度) 2刷
700部 2000円 1月刊

⑨ 児童サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズIII 6) 2刷 堀川照代編著 3000
部 1900円 2月刊

⑩ 問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう! 5刷 図書館利
用教育委員会図書館利用教育ハンドブック学校図書館 (高等学校) 版作業部会編著 500部
1000円 3月刊

⑪ 市民の図書館 増補版 22刷 日本図書館協会編 1000部 830円 3月刊

⑫ 日本十進分類法 新訂10版 2刷 分類委員会編 6000部 6500円 3月刊

⑬ 情報資源組織演習 (JLA 図書館情報学テキストシリーズIII 10) 3刷 和中幹雄ほか共
著 2500部 1900円 3月刊